

2021年5月28日

株式会社電通デジタル

電通デジタル、Google「Core Web Vitals」に対応した サイト速度改善サービスを提供開始 —改善効果シミュレーションに基づき投資対効果を最大化—

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：川上 宗一 以下、電通デジタル）は、and,a株式会社（本社：東京都目黒区 代表取締役：宮内 裕介 以下、and,a社）、アイデアマンズ株式会社（本社：東京都港区 代表取締役：宮永 邦彦 以下、アイデアマンズ社）と共同で、Googleのサイト評価指標「Core Web Vitals（コアウェブバイタル）」に対応したWebサイトの表示速度改善サービスを、本日より本格的に提供開始します。改修前の改善効果シミュレーションによる最適施策の立案から、実装、改善まで一気通貫で支援します。

昨今、企業のWebサイト運用における表示速度は、快適なUX（ユーザーエクスペリエンス）をユーザーに提供する上で非常に重要であり、Webサイト内におけるCVR（コンバージョン率）への影響などKPIの向上と密接に関係しています。またGoogleでは、表示速度やページの応答速度、ページレイアウトを3指標（LCP/FID/CLS）^{※1}としたUXを定量的に測る指標「Core Web Vitals」において、2021年6月よりGoogle検索ランキング要因にこの指標を段階的に採用することを公式発表しており^{※2}、企業においてWebサイトの表示速度改善は急務となっています。

このような背景を受け、Google品質評価ガイドラインを熟知し、SEO（検索エンジン最適化）やCRO（コンバージョン率最適化）対策等によるWebサイトのグロース支援で知見と実績を持つ電通デジタルは、デジタルマーケティングツールの実装支援に取り組むand,a社とWebサイトの表示速度改善において表示速度阻害要因の分析を専門とするアイデアマンズ社と共同で本サービスを開発しました。

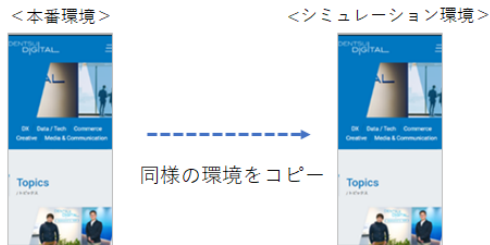
本サービスは、対象Webサイトのコピー環境を構築し、「Core Web Vitals」や、同じくGoogleのページ速度計測ツール「PageSpeed Insights」に基づく現状スコアを測定。そのコピー環境において「HTMLやJavaScript改修」「3rdパーティタグの最適化」といった施策によるスコア改善の検証を繰り返すことで、最も効果の高い施策案を導出します。その改善後スコアを可視化したレポートも提供することで、企業の本番環境における改修施策実施の合理的な意思決定を可能とします。その施策をもとに、実行、検証、改善までの支援も行い、企業はWebサイトの表示速度の効果最大化を実現し「Core Web Vitals」の評価を高めることができます。

なお、すでに求人会社の大規模サイトで実施したプロジェクトの成果として、Webサイトの表示速度を4秒以上短縮し、Core Web VitalsでGoogleが良好と定める水準までに引き上げた実績をはじめ、複数の改善事例を有しております。

今後も電通デジタルは、企業のWebサイトにおけるSEO・CROを推進し、Webサイトのグロース支援を通してクライアント事業成長に貢献してまいります。

<Web サイト表示速度改善サービスの概要>

①クライアント環境と同等のシミュレーション環境を構築



②速度改善のための様々なアプローチを実施



<よくある課題>

- ・HTML構造に関する課題
- ・広告タグ等の3rdパーティタグの発火タイミング
- ・サイト内使用画像のサイズ肥大

③改善後シミュレーションと改善実施策を提示

どの施策によりスコアがどれほど改善するかをレポートで可視化



④本番環境で各施策を実装し表示速度とスコアを改善

「Core Web Vitals」3つの指標を合格圏へ

LCP

FID

CLS

【and,a 株式会社について】 <https://and-aaa.com/index.html>

WEB データ解析歴 25 年の CAO (Chief Analytics Officer) を中心としたデータマーケティングに特化したコンサルティングファームです。

データ解析基盤設計や構築、A/B テストの実装まで、幅広いデータマーケティング課題に対してロジックに基づいた再現性のある解決を得意としています。

エンジニアリング部門としては Google Tag Manager を中心とした解析設計・実装・改善コンサルティングの多数の対応実績があります。

【アイデアマンズ株式会社について】 <https://www.ideamans.com/>

快適なモバイル・インターネット社会の重要課題「Web フロントエンドの高速化」に、科学的に挑戦するソフトウェア開発企業です。

サイトのスピードが収益に与える影響を可視化する「Web Vitals アクセス解析」、効果の予測が困難な Web フロントエンドの高速化をほぼ正確に事前検証、投機的ではない改善計画を支援する「Web Vitals 改善リハーサル」、AI による Web 画像の画質とデータ品質最適化が通信トラフィックを大幅に削減する「LightFile シリーズ」を提供しています。

※1：「Core Web Vitals」の3指標について

・LCP (Largest Contentful Paint) : ユーザーがページで最も有意義なコンテンツをどのくらい早く見ることができるかを表す。

・FID (First Input Delay) : 最初の入力までの遅延を表す。

・CLS (Cumulative Layout Shift) : ページがどのくらい安定しているように感じられるかを表す。

参考) Web Vitals の概要: サイトの健全性を示す重要指標 (出典: Google Developers)

<https://developers-jp.googleblog.com/2020/05/web-vitals.html>

※2: ページ エクスペリエンスの更新に対応するための期間、ツール、詳細情報 (出典: Google 検索セントラル ブログ) <https://developers.google.com/search/blog/2021/04/more-details-page-experience>

以上

【株式会社電通デジタルについて】 <https://www.dentsudigital.co.jp/>

電通デジタルは、2016年7月に国内電通グループのデジタルマーケティング専門会社として設立しました。デジタルマーケティングの全領域に対して、「コンサルティング」、「開発・実装」、「運用・実行」の機能を持ち、統合的で最先端のマーケティングサービスを提供しています。テクノロジーやデータ、クリエイティブなど各領域のプロフェッショナルが、電通グループ各社との連携によりシナジーを創出し、クライアントの事業成長パートナーとしてビジネスの成功に貢献します。

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部

竜野・横田 TEL : 03-6217-6036

Email : press@dentsudigital.co.jp

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル グロースコンサルティング事業部

矢野・四本松 Email : gc_ml@group.dentsu.co.jp